

2018度入学式

4月6日（金）穏やかに晴れ渡る春の日に洗足学園中学校の入学式がおこなわれました。真新しい制服に身を包んだ新入生260名は晴れ晴れとした表情で登校をいたしました。前田ホールにおいて華麗なファンファーレの響きとともに入学式は開式いたしました。オーケストラの荘厳な伴奏の中、国歌が斉唱され、続いて担任の先生による呼名がおこなわれました。新入生は一人ひとり元気な声で返事をしていました。学校長の式辞に引き続き、新入生代表が誓いのことばを述べ、新入生たちは洗足生としての第一歩を踏み出しました。

お祝いの演奏では洗足学園中学高等学校フィルハーモニー管弦楽団による「威風堂々」が演奏され、新入生たちは心躍る表情で演奏に聴き入っていました。

新入生代表の言葉を紹介いたします。

桜の花が温かく見守る本日、私たちは洗足学園に入学することができました。

入試前、街中で洗足学園の緑色の制服を着た先輩方を見かけるたびに、いつの日か自分もあの制服を着ることができるのだろうか、とっていました。今、実際に緑色の制服を着てこの場所にいることを大変誇らしく思っています。

長い間、夢見てきた学園生活には、友達ができるのか、勉強についていけるのかなど、不安もたくさんありますが、その不安以上に期待も大きいです。授業やクラブ活動はもちろん、貴重な体験をすることができる模擬国連やボランティア活動も楽しみです。

初めての学園生活では、失敗することも多いと思いますが、何事にも積極的に取り組み、精いっぱい頑張ります。

最後に、私たちは、いつも見守ってくださる方々への感謝と洗足学園の恵まれた環境で勉強できることのありがたさを忘れずに、夢や希望に満ちあふれた六年間を過ごすために努力することをここに誓います。

2018年4月6日

新入生代表 K. R

